

## 地域みんなで結ぶ大きな絆

令和5年8月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大 津 新

## 第2回自治公民館館長会研修会

令和5年度第2回館長会（研修会）を22日（火）に実施しました。今回は「防災・減災」とテーマに児湯防災士ネットワークの黒田 修・新富町危機管理専門員に「地域コミュニティの重要性」という演題で、自衛官として救援に当たられた「阪神・淡路大震災」でのご経験を基に、災害後の状況、自主防災組織、地域コミュニティづくりの重要性について講演いただきました。その後、昨年度「防災士」の資格取得の中で学ばせていただいた「マイ・タイムライン」について私から演習をさせていただき、「防災・減災」に関する情報提供をさせていただきました。最後に、佐々木恒太木城町危機管理係長に「地域のための自主防災組織」について説明していただきました。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、最近は、「想定外」「予想以上」「異常現象」というような状況です。

「備えあれば憂いなし」「備えよ常に」

ということ意識し、個人だけではなく、地域防災活動を通して「命を守る」取組みを進めていきましょう！

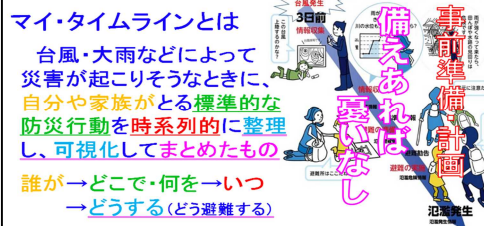


「マイ・タイムライン」をご存じですか？

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近などによって洪水が起こりそうなときに、自分や家族がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、取りまとめたものです。（参考：木城町総合防災マップ 2022 年 3 月発行保存版 P12）

「いざ」という時に慌てずに行動するためにも、平常時にしっかりと準備を進め、計画を立てておきましょう！

「マイ・タイムライン」の他にも、「防災」に関する情報がホームページに掲載してありますので、ぜひご確認ください。



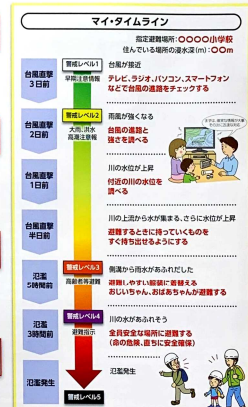
 **マイ・タイムライン** を作成しよう

マイ・タイムラインとは、台風の接近などによって洪水が起こりそうなときに、自分や家族がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたものです。

台風が直撃する3日前、2日前、1日前、半日前の行動に加えて、台風直撃により河川の氾濫が予想される氾濫5時間前、氾濫3時間前など各時間にごどのような行動をとるか整理するのがよいでしょう。



- 1** ハザードマップで、浸水・  
避難場所・避難経路を確認する
- 2** 洪水発生までとるべき基本的な  
行動を考える
- 3** 家族の状況をチェックする
- 4** 行動を時間ごとにと整理する



国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」から、手軽にタイムラインを作成することができます。  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/>  
 右のQRコードからも、国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」を開覧できます。





## 各地区の話題（取材・情報提供分のみ）

### 1 新盆供養の取組（HPでも紹介）

8月14日（月）在南、横小路、立小路、湯屋ヶ坂、平城の方々による「新盆供養」が行われました。

#### 「新盆供養とは」（木城町史 P1001 より抜粋）

精霊をお迎えして、特に14日は心を尽くして馳走の接待をする。親類・縁者をはじめ、地区の人々が新盆家に集まる。かつては夜になると、さながら供養の芸能団が訪れたように、庭先狭しと踊りの輪をひろげた。青年男女が新盆家を巡回して供養する習わしであり、念仏踊り系の古い形が残されていた。歌は、数え歌の形式を踏んだものであった。（中略）踊り子は、男女混成で折編笠に花飾りをつけ、頭は豆絞り等で包み込み誰とも判別がつきにくいようにして、浴衣の着流し。女性の場合は赤の湯文字をつける。四つ竹を持ち、「音頭」に応えリズムをとることもあり、他に造花や手拭いを持つ。笠や造花は精霊の依り代であるともいい、誰ともわからぬように変装することは、精霊そのものの仮の姿であるともいう。踊り子は相の手を入れながら、たまには奇声を発し、跳ねるように踊る。（後略）

お話をお聞きすると遠方から訪れられた親族の方もおられたとのことでした。これらの取組は、地域内の人と人、先人と今を生きる人、家族と親族とをつなぐ活動なのだと感じました。また、14日の当日を迎えるまでに10、12日の夜には事前練習も行われたということでした。

### 2 石河内地区でのワークショップ

23日（水）石河内自治公民館で「『この地域で暮らし続けたい』を叶えるためのワークショップ」が行われました。この取組は、県の中山間・地域政策課が主催する活動で、将来の不安を地域全体で語り合い、地域づくりのアイデアを創り出し、実行に移していくという取組です。今後、9月13日に3回目の活動が行われます。

## 第74回九州地区公民館研究大会長崎大会（報告）

8月24、25日九州地区公民館研究大会が長崎市で久しぶりに開催されました。この大会は、急速に進む情報化やグローバル化に加え、コロナ禍における社会活動への対応、持続可能な社会づくりに向けた取組など、社会全体の大きな変化に向け、公民館の地域拠点としての役割について、各地区における活動の情報交換・情報共有を通して考え、公民館活動の発展・充実を図るものです。今回は、自治公民館連絡協議会役員の杉田会長、西副会長、尾前理事に参加していただきました。分科会では、本年度のテーマでもある「安心・安全な地域づくり」について他地域での取組についての情報収集を行い、本町での活動に生かせる知見を広げる機会となりました。（次回報告予定）

